

中学校卒業まで、国保の保険証は取り上げません

釧路市の取り組みが法律に



日本共産党
村上かずしげ

そこで、共産党議員団は札幌市の例にならない、高校卒業まで保険証の取り上げをしないこと、あわせて高齢者からの取り上げも禁止する条例案を独自に提案、村上議員がその実現をせまりました。

採択の結果、共産党の提案は否決されてしまいました。



今年になって、厚生労働省は子どもの保険証取り上げ問題を一斉に調査、義務教育の子どもからは保険証を取り上げないよう国保法を改正することを決めました。釧路市の先進的な取り組みが、今度は法律となって全国に広がることになったのです。

国民健康保険の保険料を一年以上滞納すると、保険証が取り上げられます。そうすると、病院の窓口負担は十割、事実上病院にかかれなくなります。小中学生からも保険証が取り上げられる事態が頻発していました。

5年前に村上議員がこの問題を取り上げ、「親が納付義務を果していないことと、子どもの受診権は別の問題」「子どもが病院にかかれるよう最優先で解決を」と訴え、釧路市は義務教育の子どもからは保険証を取り上げないことになりました。

一二月議会で、村上かずしげ議員は、国保、食の安全、介護保険、市長の退職金の4つを一般質問しました。

これでは安心できません!!

道新 2008年(平成20年)12月6日(土曜日)

メラミン混入?の菓子、市立病院でも
市議会答弁 被害報告はなし

定例釧路市議会は五日、一般質問を続けた。市は、市立釧路総合病院の給食で八月上旬、有害物質メラミンが混入した丸大食品(大阪府)の業務用菓子「グリームパンダ」を提供していたことを明らかにした。健康被害の報告はないという。村上和繁氏(共産)の質問に答えた。

同病院によると、問題の菓子は給食を委託している業者が八月九日の給食時にデザートとして三百十個を提供。九月二十日に業者からメラミン混入の疑いについて報告があった。菓子をお口にした患者の大半は退院しており、現在までに健康被害の報告は寄せられていないという。市は九月の定例市議会会期中(池田祥、浦崎竜馬)の会派代表者会議で事態を報告したが、公表はしていなかった。今後の防止策について、同病院の米谷好晃事務長は「細菌検査や残留農薬検査の報告書の提出を求めることを委託業者と確認した」と述べた。

(北海道新聞 12月6日付より)

あわせて、学校給食の汚染米が混入した可能性がある厚焼き玉子や鹿肉への銃弾の破片が入っていたことなどを取り上げ、食の安全対策を質問しました。



10億円の基金を使って 介護保険料の値上げはするな!!

介護報酬の引き上げ、介護保険事業計画の改定で、介護保険料の値上げが予想されます。据え置きを求めましたが、基金の活用で値上げ額を抑制したい考えを示すだけでした。値上げするということなのでしょか。



市長退職金の廃止求める

「財政難のなか市民に負担増を押し付けている。一期4年で二二〇〇万円の市長退職金は高すぎる。市長退職金を廃止して、暮らし応援を」と質問しましたが、蝦名新市長は、「国務大臣も他の首長にも退職金がある。廃止する考えはない」と答弁しました。

それにしても、退職金の額にびっくりするばかりです。

